

## 臨床研究の実施に関する情報公開

市立四日市病院では治験審査委員会（臨床研究倫理委員会）の承認を得て、下記の臨床研究を実施いたします。

関係各位のご理解と御協力を御願い申し上げます。

① 研究課題名	胆膵領域における Digital subtraction の有用性
② 研究依頼者	消化器内科 丸山 昭洋
③ 研究責任者	消化器内科 丸山 昭洋
④ 研究期間	承認日 ～ 西暦 2025 年 10 月 1 日
⑤ 対象者	当院で胆管閉塞、狭窄、膵管狭窄に対して内視鏡的経鼻胆道膵管ドレナージ (ENBD/ENPD) ・内視鏡的逆行性胆道ドレナージ (ERBD) を行った患者さんを対象としています。
⑥ 対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料 (対象臓器名 ) <input type="checkbox"/> 生検材料 (対象臓器名 ) <input type="checkbox"/> 血液材料 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ等の診療情報 <input type="checkbox"/> その他 ( )
⑦ 研究の意義・目的	一般に胆管や膵管の造影は透視下で造影剤を使用しますが、Digital subtractionの技術を応用し、その造影を行うことで合併症の低減やより高解像度の胆管・膵管情報獲得可能性を探ります。
⑧ 研究の方法	ENBD/ENPD チューブ留置後、CO2 またはウログラフィンで造影を行います。その際に Digital subtract imaging を行います。後ろ向きに Digital subtraction なしの通常造影と Digital subtraction ありの造影で造影される胆管・膵管の本数の比較と CO2 とウログラフィン使用時の偶発症発生率を比較します。
⑨ 倫理審査	治験審査委員会承認日：2025 年 2 月 7 日
⑩ 結果の公表	論文や学会等にて公表予定
⑪ 個人情報の保護について	本研究実施に関わる者は、患者さんの個人情報の保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。また本研究の目的以外に、本研究で得られた情報を利用しません。
⑫ 本研究に関する問い合わせ先	市立四日市病院 消化器内科 TEL：059-354-1111